

◆戸別収集・有料化説明会 Q&A

平成26年2月2日(日) 午前10時から午前11時40分 場所 腰越学習センター
参加者 206名

- 1 市のごみ処理体制の考え方
- 2 意見公募（パブリックコメント）の結果
- 3 有料化の具体的な内容
- 4 質疑

Q 燃やすごみのコストが21億円とありますが、今泉クリーンセンターの稼働コストはどれくらいになりますか。又、今泉クリーンセンターが全面的にストップしたら、どのくらいの事業費削減になりますか。

A 今泉クリーンセンターの維持管理費として約1億6,000万円かかります。燃やすごみの21億円の内訳は燃やすごみを収集運搬して2つのクリーンセンターで焼却する費用です。今泉クリーンセンターにつきましては焼却の停止はさせていただきますが、その後ごみ処理施設として利用していきたいと、ご説明しています。

Q 今泉クリーンセンターがストップしたことにより1億6,000万円浮いてくるということになります。先程、燃やすごみ3万トンまで、残り6,200トンの削減が必要となる見込みであるという説明がありました。その6,200トンを全部自区外処理にした場合の処理費と、浮いた1億6,000万円が同じくらいになります。そうすれば戸別収集・有料化など考える必要はないというのが私の意見です。

A 自区外処理については、鎌倉市は鎌倉市の中で自区内処理をするのが基本であると考えています。今現在、自区外処理しているのは、名越クリーンセンターの延命化工事をしているからで、延命化工事などやむを得ない事情により一定期間に限り他市にお願いが来ています。

ごみが減らないから他市にお願いすることとは意味合いが違ってきます。簡単に自区外処理するということにはなりません。鎌倉市で減量施策をした上で対応するべきと考えています。

Q ごみ袋について我が家もそうですが、クリーンステーションを見て回ると、ほとんどがスーパーのレジ袋をリユースしています。言ってみれば鎌倉市民は壮大なリユースをしています。受付に置いてあった指定袋を売るなど矛盾していると思います。

A スーパーのレジ袋もリユースの一つになりますが、市では、リデュース（発生抑制）もお願いしています。マイバックなどを利用し、ごみそのものをもらわないリデュースで対応していただければありがたいと考えております。

Q 有料化に移行すると削減効果があるということですが、なぜ削減できるのかその理由が見えてきません。

A ごみを減らせばその分費用負担を抑えることができることから、ごみ減量への意識が働きます。例えば生ごみ処理機で生ごみを減らしたり、水切りをしたりして少しでも小さな袋で出そうとする意識が働くことによってごみが減ってくると考えています。

有料化と併せて、生ごみ処理機などについても普及の対策をしていかなければいけないと考えています。

Q 有料化による削減効果で、北海道で17パーセント、東京都多摩地区で15パーセントの

減量になっていますが、逆に失敗して、ごみが増えた例が無いか気になります。

A 環境省の調査で、金額設定がリットルあたり 0.5 円と低い設定ではあまり効果がないという事例も見受けられます。鎌倉市の場合 1 リットルあたり 2 円と高い設定になり、同金額で設定している他市の状況を見ても減量効果があると考えています。

Q 戸別収集モデル地区での減量の状況はどうなのでしょう。

A 3 地区で平成 24 年 10 月から 25 年 3 月まで期間で実施前と実施後のごみの量を計り調査しました。減量効果は、地区により様々でした。ある地区は若干増え、ある地区は 20 パーセントぐらい減り、ある地区は 10 パーセントぐらい減り、平均しますと概ね 10 パーセント程度の削減となります。

現在もモデル地区のごみの量を調査していますので今後、分析する必要があると考えています。

Q このまま戸別収集・有料化が実施されずに今泉クリーンセンターが停止した場合、焼却出来ないごみはどうなるのでしょうか。

A 戸別収集・有料化によりごみを減量したいと考えます。ごみが減らなかった場合、新たなごみの減量施策を引き続き検討しなければなりません。いずれにしても喫緊の課題なので、対応可能な施策を考えます。

Q 新しい焼却施設の計画が進んでいると思いますが、深沢の開発地区に建ててしまうことは、今からできないのでしょうか。

A 建設地については、今年から来年にかけて具体的に決定をしていきます。鎌倉市の中で一定の広さの土地が必要になり可能性のある土地を検討する作業に入っていきます。その中には深沢の旧国鉄清算事業団用地も一つの候補地になり得ると考えています。

Q 戸別収集・有料化を並行してやっていただきたいと考えます。有料化について不法投棄の問題点がありました。今でもクリーンステーションの不法投棄が後を絶ちません。もし段階的に有料化にするのであれば不法投棄についてどう対応するのですか。

戸別収集をやっていただきたいのは、戸別収集と有料化をセットで実施することによりコストはかかりますが問題点がかなり縮小されるのではないかと考えるからです。近隣市の戸別収集・有料化による問題点を把握しクリアするにはどうすれば良いかまとめて、戸別収集・有料化を実施することを希望します。又、これから先の予定があるなら教えてください。

A 本来の計画では戸別収集・有料化を同時実施する予定でした。有料化を先行することについては、皆様にご負担をお願いすることになりますが、ごみの減量が喫緊の課題である中で必要な施策として実施していきたいと考えています。また、有料化による歳入については施設建設も含めた将来的な負担に充てさせていただきたいという思いを持っています。

さらに、戸別収集については色々なご意見をいただいています。有料化を先行実施して、改めて様々な検証をさせていただき、ご理解を得る必要があると思っています。

不法投棄についても対処すべき問題が多くあると想定しています。職員、パトロール員等の費用も予算の中に入れることを考えており、先行他市での実施時の諸課題を踏まえ、改めてその対応策などについて皆様にお知らせしていきます。

Q 去年、意見公募をしていたことを知りませんでした。わずか 141 件しか得ていない意見については、参考意見にはなるかも知れませんが、資料に載せる様なことではないと思います。

2月に説明会をして2月に議決をする。そういう状態が生まれると思いますか。もっと時間をかけて説明しないといけません。説明会は必要ですが、この説明会が2月の議決を前提とした説明会であるならばとんでもない話です。

A 今回の5回の説明会だけで進めると捉えられてしまったと思いますが、これまで自治・町内会を含め100回を超える説明会をさせていただきました。その間も含め、ご意見を出す機会が足りないというご指摘については、受け止めたいと思います。

ご意見、ご指摘については、パブリックコメントだけでなく随時、市役所でも受け付けています。皆様からのご意見やご指摘を受け止め、施策を進めてまいりたいと考えています。

Q 10月に向けて有料化を進め、モデルの3地区については戸別収集・有料化が並行して進んでいくと思います。そのデータの検証は来年3月でまでにしなくてはいけないと思いますが、最終的に戸別収集をやるか、やらないかをどのくらいのスパンで検証することを考えていますか。

A ごみの削減量や組成がどのように変わってくるのか半年は見る必要があると思っています。収集環境についても当初は混乱することが予想されますし、モデル地区のアンケート調査実施なども考慮し、検証期間として半年は必要と考えています。

Q 鎌倉市の地形は山です。1軒1軒収集するのにかなりの人件費が必要になるという疑問が生まれました。藤沢市は平坦で収集しやすいと思いますが、鎌倉市は山が多く道路が狭い所が多いので、収集に問題は無いのでしょうか。

A 収集困難な鎌倉山、山ノ内地区をモデル地区と設定し、どうすれば収集体制を構築できるのか、コストはどのくらいかかるのか検証しました。大きな車では無く小さな車で収集しなければならない所もあり、クリーンステーション収集に比べて費用がかかります。それをどうすれば効率的に収集できるのか、引き続き検証する必要があると思っています。

なお、収集時間につきましては、モデル地区における収集で最初の3週間は非常に時間がかかりましたが、現在では解消されています。

Q 有料化すると指定袋とそうでない袋が混在します。これをどうやって対応していくの心配です。まず有料化の前にごみを減らす方法を皆さんで調べるべきだと思います。

A その通りだと思います。単に有料化するだけでなく、どうしたら減るのか、私達も紹介させていただきながら、皆様との協力体制を構築することが重要だと考えています。

Q 戸別収集はコストがかかることは分かりました。そこまで多額のお金をかけてなぜ戸別収集をしなければいけないのかその理由が理解できません。今日話を聞くと不法投棄を防止するためということが主眼となっているように思えますが、戸別収集を行うことによって不法投棄する不心得者を改心させるのは無理ではないでしょうか。別に方策を講じるべきです。私は西鎌倉地区に住んでおりますが、みなさんきれいになさっていて不心得者はどこにいるにかというぐらいです。西鎌倉地区の方では今のままでいいという意見も出ています。

A 多額の費用がかかるのはご指摘のとおりです。どうすれば効率的にできるか見直しをしています。私も以前、西鎌倉地区に住んでいました。きれいにクリーンステーションを管理してあり、おっしゃることはよく分かります。ただ、鎌倉市で年間のクリーンステーショントラブルについては1,000件以上問い合わせがあります。地域性もあり駅前、商店街、アパートが多い地域ではクリーンステーション管理に苦労している実態もあります。うま

くいつているクリーンステーション、そうでないクリーンステーションがあり、皆様の意識の差が生まれているようです。皆様にどのようにご理解をいただくことができるか、戸別収集については、より良い制度のあり方を検討していきます。

Q 燃やすごみの半分は生ごみと推測します。燃やすごみの分別をもう少し考えて、例えば生ごみと、その他の燃やすごみに分別し、現在、週2回の燃やすごみの日の1回を生ごみ、1回をその他の燃やすごみで収集すれば、「もったいない」の意識が生まれ、生ごみ処理機を使う方や庭に埋める方が増えて、ごみが減るかもしれません。

私は有料化には反対しておりません。戸別収集は疑問ありです。

A 燃やすごみの組成分析をしたところ半分が生ごみです。生ごみだけが家庭で処理できる唯一のごみです。何が何でも埋めてというわけではありません。それぞれの家庭環境もあり得る範囲でご協力をお願いします。取り組みやすい方法もお知らせしたいと思います。

Q 以前バイオマス施設の計画があり、その後焼却施設に変わりました。なぜ焼却にこだわるのですか、今後の処理について焼却だけで処理するのですかバイオマス施設を取り入れるのですか。

A バイオマスエネルギー回収施設を計画していました。実際に全国で見れば稼働しているところもありますが、神奈川県内でも、横須賀市や平塚市は取り止めています。まだまだごみ処理が安定的にできるかどうか不確実です。バイオマス施設を建設し、うまくいったとしても焼却施設は建設しないと鎌倉市の安定的なごみ処理はできません。10年の間に2つの施設を建設するよりも、焼却施設に絞った方が鎌倉市は早く安定的にごみ処理ができると考えて見直しをしました。

【ご意見】

- ・ 戸別収集にかかる費用が5億2,000万かかると市の方から聞いています。毎年、委託費用として使うなら、新しいごみ処理施設や名越クリーンセンターの充実に使うべきです。不法投棄の問題で場所、地域が限られているのであれば、そこに重点的にお金をかければ5億円もかかりません。
- ・ 議会でも反対し、アンケートの結果で、わずか141件のパブリックコメントとおっしゃいますが、この種のパブリックコメントでは住民の1～2パーセントも集まりません。この141件はものすごく多い数字です。その中の半分以上の人が戸別収集に反対しています。
- ・ 住民税を使いごみを処分しているのに、それでも住民は「有料化は仕方がない」と言っている以上、無駄にお金を使わないでください。よその市がやっていて効果があるから鎌倉市もやりますでは住民は納得しないと思います。

